

2015年8月3日

関電システムソリューションズ株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社

## 関電システムソリューションズと日本IBMがセキュリティー運用監視サービスで協業 ～標的型攻撃対策製品「FireEye」に24時間365日の有人運用監視を実現～

関電システムソリューションズ株式会社（代表取締役社長 山元 康裕／本社：大阪市北区、以下KS-SOL）は、日本アイ・ビー・エム株式会社（以下日本IBM）と協業し、標的型攻撃対策製品「FireEye」を導入された企業の自社運用監視に代わり、セキュリティー専門技術者による24時間365日の有人運用監視を行うサービスを新たに開始します。

本サービスをご利用いただくことで、日々進化するサイバー攻撃の脅威から企業の知的資産および重要なデータを守り、安心・安全なシステム運用を実現します。

### ■ サービスの概要

#### (1) サービス名称

KS-SOL マネージド・セキュリティー・サービス サービスタイプ3

#### (2) サービスの概要

「FireEye」を導入された企業向けに、KS-SOLが提供する運用監視サービスとして提供します。バックグラウンドには、日本IBMのセキュリティー専門技術者による24時間365日の有人運用監視サービス「IBM® Managed Network Security Services（以下IBM MNSS）」を利用します。

「IBM MNSS」は、東京を含む世界10拠点のIBMセキュリティー・オペレーション・センター（SOC）においてお客さまサイトのセキュリティー機器を運用監視します。

対応時間帯※	24時間365日	
インシデント通知レベル	“高”・“中”のみ	
インシデント対応	支援回数	月5回 (超過の場合は、3カ月目に条件見直し)
	連絡手段	電話、メール、ポータル
	レポート	月次報告
	インシデント通知	即時連絡
	アラート解析	あり

※対応時間帯が平日9時～17時のサービスレベルとする、サービスタイプ1、2もご用意しています。

#### (3) サービス提供イメージ



(4) サービス開始日  
2015年8月3日

(5) 価格（税別）  
4,620,000円/年 から

K S - S O L は、半世紀にわたり電気事業という社会インフラを I T で支え続けてきた実績と信頼性・ノウハウを基に、お客さまの多様化・高度化するニーズを安心・安全にサポートしています。

2014年8月より標的型攻撃対策製品でグローバル No. 1 企業であるファイア・アイ社と提携し、「F i r e E y e」製品・サービスを情報セキュリティソリューションの中核に位置づけ、お客さまのセキュリティ対策に最適な導入・運用を支援しています。

K S - S O L と日本 I B M の両社は今回の協業発表を機に、両社の実績・ノウハウを生かし、さらなるセキュリティ対策をお客さまに提供していきます。

#### ■ F i r e E y e 製品について

「F i r e E y e」製品は、情報漏洩の脅威をリアルタイムで検知、防御する先進的なセキュリティ機能を持つ「サンドボックス型セキュリティ対策製品」です。

開発元のファイア・アイ社は Web および電子メール経由の標的型攻撃対策である同製品に加え、ファイル共有に潜むマルウェアやセキュリティ・リスクを検出、分析、防御策を提供するソリューションを、国内を含む全世界で提供しています。

#### ■ I B M M N S S について

「I B M M N S S」は、東京を含む世界 10 拠点の I B M セキュリティ・オペレーション・センター (S O C) においてお客さまサイトのセキュリティ機器を運用監視するサービスです。セキュリティ専門スキルを持った技術者による監視や、グローバルセキュリティ研究機関である X-Force と連携して最新情報を活用し、24 時間 365 日の有人による運用監視サービスを提供しています。2014 年 10 月から「F i r e E y e」を監視対象機器に加え、さらに高度な運用監視体制を実現しています。

S O C では 2014 年 5 月より、次の 3 点において、さらなるサービスの強化を実施しています。今回の取り組みはセキュリティ・ビジネス・センターのさらなる強化の一環です。

##### 1. セキュリティ・オペレーション・センター

Managed SIEM のセキュリティ監視機能を一層充実することで、昨今のサイバー攻撃の巧妙化へのお客さまの対策を支援しています。

##### 2. セキュリティ・ビジネス・センター

パートナーの皆様との協業を通して、お客さまにセキュリティ・ソリューションを統合的に届けています。

SIEM (Security Information and Event Management) ツールである「QRadar」のログソースや MSS の監視対象機器を取り扱っているパートナーと、検証、技術支援、研修など協業強化を図ることでより有効なソリューションをお客さまへ提供していきます。

##### 3. セキュリティ人材開発センター

お客さまがサイバー攻撃への対処を行うにあたり必要となる、セキュリティ・スキルの獲得を支援します。外部の教育機関、研修パートナーとの協業により、より効果的に I B M やセキュリティ・パートナーのソリューションを活用するために必要なスキル、体制構築を支援します。

---

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、QRadar は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> (US) をご覧ください。

---

■ 本件についてのお問い合わせ先

<サービスのお問い合わせ先>

関電システムソリューションズ株式会社

IT サービス事業本部 IT サービス統括部 IT サービス営業グループ

担当：多田、福嶋

電話：06-7176-7710 FAX：06-6453-0201

ホームページからのお問い合わせ：<http://ks-sol.jp/contact/>

<報道関係者お問合せ先>

関電システムソリューションズ株式会社

総務部 総務・広報グループ

担当：辻本、谷口

電話：06-7176-7500 FAX：06-6453-0201

Mail：[publicrelations@ks-sol.jp](mailto:publicrelations@ks-sol.jp)

日本アイ・ビー・エム株式会社

広報担当：下岡

電話：050-3150-5503 広報代表 03-3808-5120

Mail：[masakos@jp.ibm.com](mailto:masakos@jp.ibm.com)